

障がいのある方の雇用に取り組む

協栄設備サービス株式会社(綾部市)

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：工場内業務請負・人材派遣

障がいのある方が従事している仕事
請負元工場での製品付属品の袋詰め、構内製品運搬、製品組立加工、事務など



【障がい者雇用の経過】

- ・創業者は障がいの有無にかかわらず、能力を発揮していただけると判断した方を採用してきました。この遺志は現在も引き継がれています。
- ・多くの方を採用してきたことが、適性の見極め力の向上や配慮・環境の整備につながっています。



【これからの目標と課題】

内部障がいや精神障がいの方は、本人が申し出ないと分かりにくく、必要な配慮ができないことがあります。障がいをオープンにできる社内風土をつくっていく必要があると考えています。

【雇用において工夫していること】

- ・就労移行事業所などからの実習を経て採用しています。最初は軽作業から取り組み、適性を見極めながら配置しています。
- ・作業面の配慮としては、歩行が困難な方には、座り作業でかつ移動距離が少ない仕事を切り出しています。
- ・精神障がいの方については、本人、会社、主治医との間で連携し、本人の職場での状況をメール等で共有し診察に活かしてもらっています。
- ・正社員でも本人の状況により時短など柔軟に行えるように配慮しています。また、障害年金に関するサポートも行っています。

【苦勞していること】

- ・現場が他社(請負先)であり、バリアフリーをお願いしています。(例えば、歩行困難なバイク通勤者のための作業場近接での駐輪場の確保など)。障がい者雇用に関する考え方を他社と共有するのに苦勞しています。
- ・現場では基本5名1グループとしてリーダーを中心に動いていますが、精神障がいの方は、採用当初は出社にムラ出ることもありますので、仕事の調整や現場でのチームづくりには担当者も加わって早く職場に慣れていただくようにしています。

